文芸書　詩歌　ご担当者様

朔（さく）出版　新刊のご案内
7月上旬発売！

句集　人魚のころ

なつはづき　著

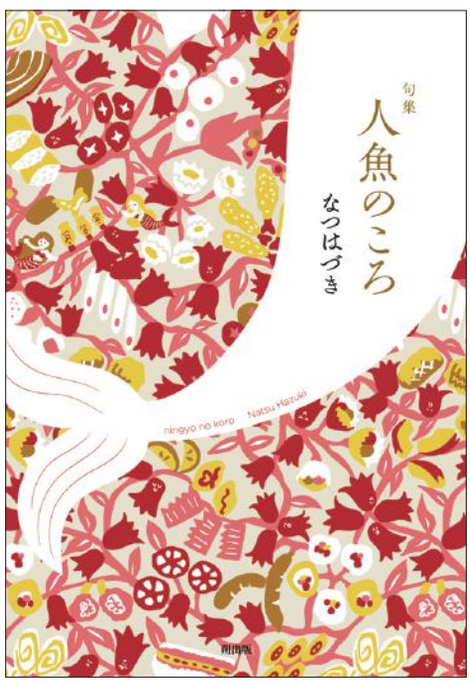
初句集『ぴったりの箱』で一躍
注目を集めた俳人・なつはづき、
待望の第二句集刊行！

研ぎ澄まされた作者のことばは、
読む者の「内なる記憶」に触れて、
心の余白をそっと広げてくれる。
特有の身体感覚は健在、表現はますます自在に。
鮮烈かつ繊細な 280 句を収録！

〈収録作品より〉

鉄屑になるまで鉄でいる穀雨
八十八夜少し透けたくなる体
臨月の腹万緑に押し返す
かぶと虫かさりと父の戻る夜
髪洗う人魚の頃を思い出す
蛇いちご母をまっすぐ見られぬ日
思い出を常温にして桃を剝く
絶叫のような吸い殻幸彦忌
息ふたつ交わす真冬の爆心地
心から遠い指先あすは雪

光るために、言葉はわたしの鱗。



【帯文＝高野ムツオ／栞＝筑紫磐井】
四六判　並製　160 頁
定価 2640 円（本体 2400 円＋税 10%）

著者＊なつはづき
1968年、静岡県生まれ。
「青山俳句工場 05」「豈」「俳句新空間」等に参加
2018年、第 36回現代俳句新人賞受賞
2019年、第 5回攝津幸彦記念賞準賞受賞
2020年、第一句集『ぴったりの箱』刊
2022年、第 7回攝津幸彦記念賞正賞受賞
現在、現代俳句協会理事、超結社「朱夏句会」代表

ご注文はJRCへ　FAX: 03－3294－2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者 JRC 宮尾）

番線印	注文数　冊	句集　人魚のころ　なつはづき　著
ご担当：　様	注文日　／	四六判 /並製/160頁 /定価: 2640円(本体2400円＋税10%) ISBN978-4-911090-32-9　C0092

発行：株式会社朔出版　〒173-0021 東京都板橋区弥生町 49-12-501　電話　03-5926-4386